

**単元名 大気の躍動と恵み(2分野 単元3－5章)**
**配当時間 3時間**

**単元の目標** (1) 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、自然の恵みと気象災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解したり、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けたりすることができる。

(2) 自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現するなど科学的に探究することができる。

(3) 自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

**標準的な展開例**

11240206\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1～2 気象災害とその対策について理解する。 ★気象災害について調べよう。 ○気象現象によって起きる現象や災害について話し合う。 ・大雨によって起きる洪水や土砂崩れ ・大雪によって起きる雪崩や路面凍結 ・台風によって起きる暴風や高波  ○様々な気象災害とその対策について調べる。  ○調べた結果を発表する。 3 気象現象によって、水や風の恩恵がもたらされていることを理解する。 ★気象現象による恵みについて調べよう。 ○気象現象による恵みについて話し合う。 ・水田 ・湧水 ・風力発電 ・流氷  ○様々な気象現象による恵みについて調べる。  ○調べた結果を発表する。	・教科書P.213の図1を参照させながら指導するとよい。 ・雨、雪、風に関して考えさせるとよい。 【評】気象現象によって起きる現象や災害について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・インターネットで国土交通省や自治体で発行しているハザードマップを参照してもよい。  ・教科書P.214～P.216の「やってみよう」を参照させながら指導するとよい。 【評】様々な気象災害とその対策について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する  ・教科書P.217の図4を参照させながら指導するとよい。 【評】気象現象による恵みについて話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・身近なところで、水や風などによる恩恵がないかを探すようにさせる。 ・環境省、農林水産省、国土交通省などのウェブサイトで調べさせるとよい。

**【 備 考 】**

ここでは、気象現象は、住みよい環境や水資源などの恩恵をもたらしていることを調べさせ、自然が人々の豊かな生活に寄与していることに気付かせる。また、資料などを基に、台風や前線などによる大雨・大雪や強風による気象災害について調べさせ、天気の変化や日本の気象と関連付けて理解させる。